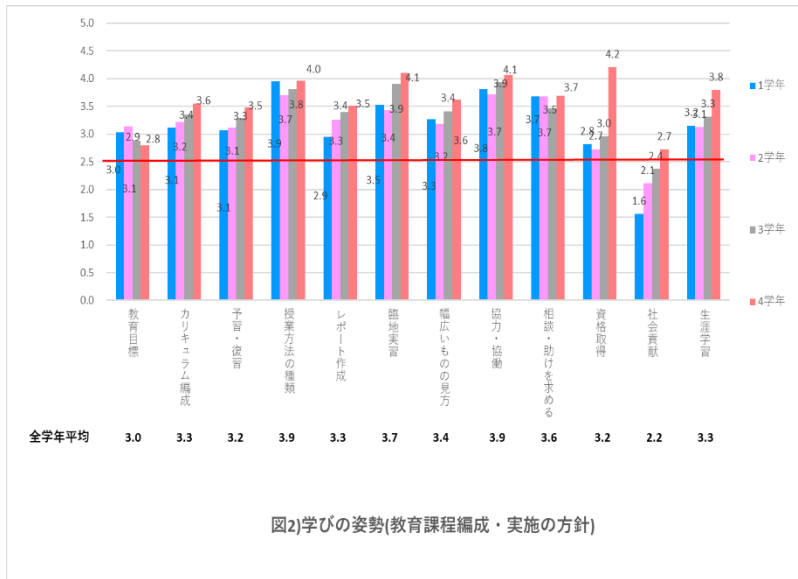


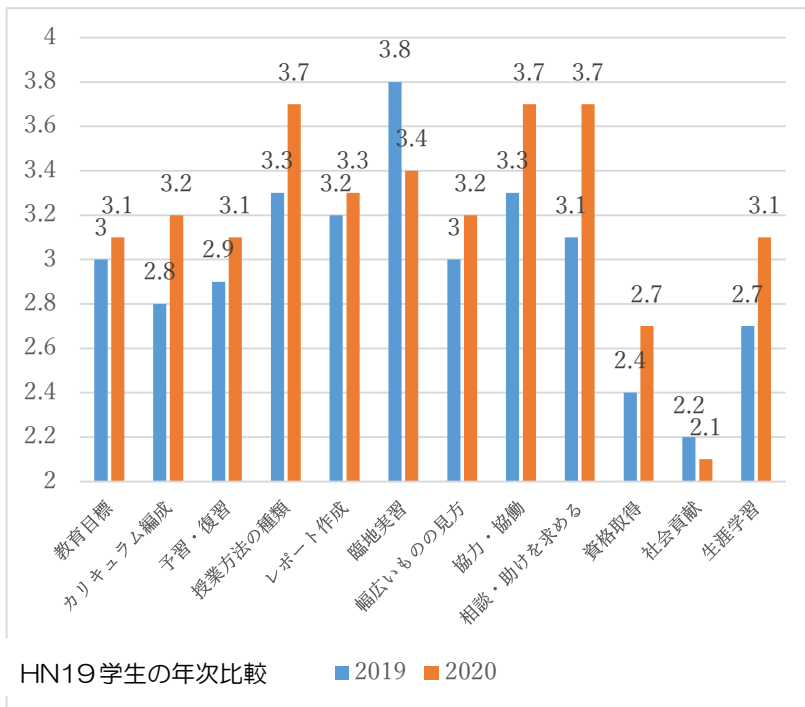
2020 CPに照らした学修成果の検証



2020年度保健看護学科 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針) 報告書

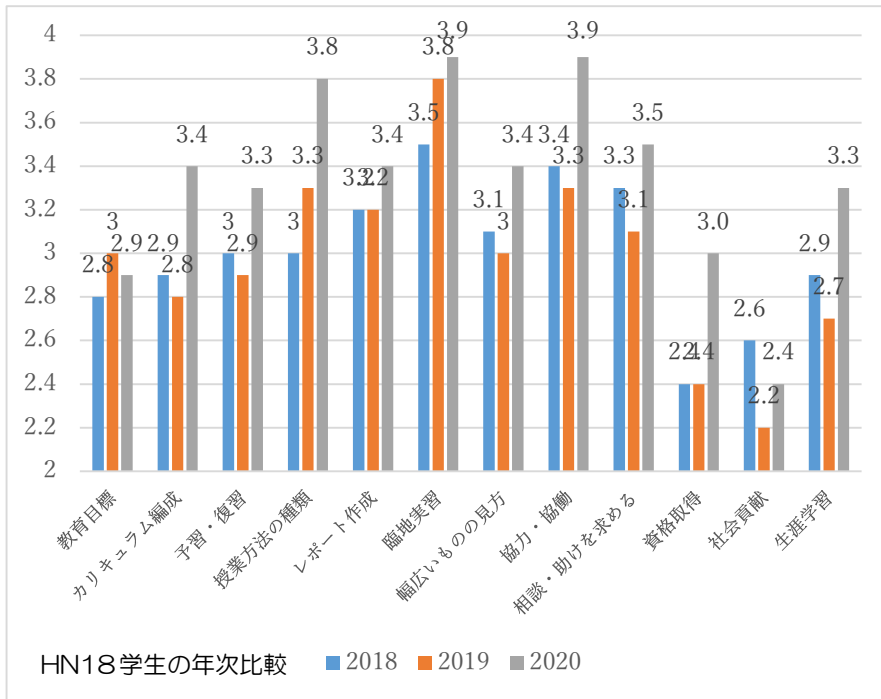
I. 学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)振り返り

1. 各学年の対象数は、1年生が59名(70.2%)、2年生が78名(85.7%)、3年生が51名(55.4%)、4年生が29名(37.2%)であった。
2. 全学年を通して高得点の項目は、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている)(3.9)、協力・協働(グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる)(3.9)、臨地実習(臨地実習は何故行うか知っている)(3.7)であった(図2)。
3. 低得点の項目は、社会貢献(ボランティアなどを行っている)(2.5)であった。今年度は新型コロナウイルス感染対策上、社会活動自体が制限される状況にあり、1年生においては、新しい活動始める機会が失われ、大きく影響を受けたものであると思われる。(図2)。
4. 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。授業方法の種類、協力・協働においては、高い傾向がみられ、対面授業が制限される中、学生自身が授業に関心を寄せ、意識を高めていたと推察される。また、実習等限られた対面の機会に、協力・協働の重要性について修得したと考えられる。



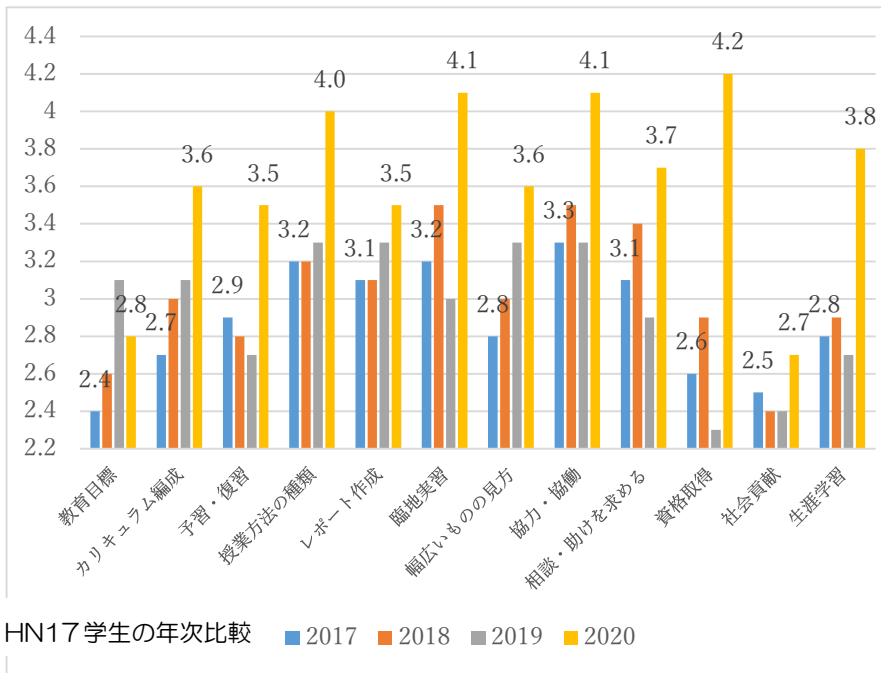
HN19学生の年次比較

1. HN18学生を対象数は、2019年度が59名(64.1%)、2020年度が78名(85.7%)であった。
2. 高得点の項目を見ると、2019年度は臨地実習(3.8)、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている)(3.3)、協力・協働(グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる)(3.3)であり、2020年度は臨地実習(臨地実習は何故行うか知っている)(3.7)、授業方法の種類(3.7)、相談・助けをを求める(3.7)であった(図2)。
3. 低得点の項目は、2019年度、2020年度共に社会貢献(ボランティアなどを行っている)(2.5)であった。
4. 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。特に、相談・助けをを求めるは大きく向上が見られた。新型コロナの中での授業であったこともあり、困ったことがあった際に意識的に友人と話をし、教員に質問するなどの行動を意識的にとられたことが考えられる。一方、2020年度が低下した項目は臨地実習と社会貢献であった。



HN18 学生の年次比較

- HN18 学生の対象数は、2018 年度が 72 名 (88.9%)、2019 年度が 60 名 (67.4%)、2020 年度が 51 名 (55.4%) であった。
- 高得点の項目を見ると、2018 年度、2019 年度、2020 年度共には臨地実習 (3.4 / 3.5 / 3.9)、協力・協働 (3.4 / 3.3 / 3.9) であった。
- 低得点の項目は、2018 年度、2019 年度、2020 年度共に社会貢献 (ボランティアなどを行っている) (2.6 / 2.2 / 2.4) であった。
- 全体的に 2019 年度 (2 年次) が低下する傾向が見られた。特に、社会貢献 (2.6 から 2.2)、相談・助けを求める (3.3 から 3.1)、生涯学習 (2.9 から 2.7) は低下していた。一方、カリキュラム編成 (2.9 / 2.8 / 3.4)、授業方法の種類 (3.0 / 3.3 / 3.8)、協力・協働 (3.3 / 3.4 / 3.9)、生涯学習 (2.9 / 2.7 / 3.3) と向上していた。



HN17 学生の年次比較

- HN17 学生の対象数は、2017 年度が 72 名 (88.9%)、2018 年度が 53 名 (63.1%)、2019 年度が 17 名 (22%)、2020 年度が 29 名 (37.2%) であった。
- 学年順に向上した項目を見ると、カリキュラム編成、レポート作成、幅広いものの見方であった。
- 3 年次に低い項目を見ると、予習・復習、臨地実習、協力・協働、相談・助けを求める、資格取得、生涯学習であった。これらはいずれも、2020 年度 (4 年次) には、大きく得点を向上していた。
- 全体的に低得点の項目は、教育目標、レポート作成、幅広いものの見方であった。
- 伸び悩みの項目は、レポート作成であった。
- 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。特に、資格取得、臨地実習、協力・協働は大きく向上が見られた。

